

# 平成28年度小松島市事務事業評価シート

<b>■事業の位置づけ（基本事項）</b>				<b>整理番号</b>	4 - 1 - 41
<b>事務事業名</b>	観光プロモーション事業			<b>担当課係</b>	産業振興課 企業振興・商工港湾担当
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>大項目</b>	5. 「日（いとなみ）が輝く」		<b>記入担当者</b>	
	<b>中項目</b>	②産業の振興		<b>内線等</b>	
	<b>小項目</b>	4. 農水工商業の連携による地域資源の発掘や活用、魅力発信の強化		<b>E-mail</b>	
<b>事業の実施主体</b>	市（委託・補助事業含む）			<b>事業区分</b>	経常事業
<b>事業予算費目</b>	<b>款</b>	7	商工費	<b>項</b>	4 商工費
	<b>目</b>	4	観光費	<b>事業</b>	5 観光プロモーション事業
<b>開始年度</b>	平成27	<b>年度</b>	根拠法令・要綱等		

<b>事業の対象</b>	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市民。小松島市を訪れる観光客。				
<b>事業の目的</b> （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 小松島市の観光資源を活用し、観光PRキャラクターを活用した観光案内等のPRを行うことにより、小松島市の知名度をあげ、イメージアップにつなげる。				
<b>事業の内容</b> （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 観光案内所の運営を委託するとともに、観光ボランティア協会の活動を支援する。観光PRマスコットキャラクターを利用した観光PRを積極的に行うとともに、観光パンフレットの作成や新たな観光資源の開発を行う。				
<b>事業の背景</b> （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 地方創生に取り組む一環として、魅力ある小松島市を目指して観光振興事業に取り組み、小松島市をPRし、小松島市への訪問者を増やしていく。				

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

	指標名			指標の説明				
		H27	H28	H29	H30	目標年度 目標値		
成果指標	利用者、参加者数			観光案内所で訪問をした人数、スキルアップセミナー参加者、ボランティアガイドご当地ツアー参加者。			指標化できない成果 事業に対する来市者数	
	単位							
	目標	3,089	3,589					
	実績	3,731	4,865					
	達成度	120.8%	135.6%					
活動実績・参考となる指標	指標名	単位		H27	H28	H29	H30	指標の説明
	観光案内所利用者数	人	計画	3,000	3,500	3,500	3,500	
			実績	3,615	4,691			
	ボランティアガイドスキルアップセミナー	人	計画	44	44	-	-	
			実績	54	21			
	ボランティアガイドご当地ツアー	人	計画	45	45	-	-	
			実績	62	153			
				計画				
				実績				

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		27年度決算	28年度決算	28年度予算	29年度予算	
全体コスト（円）	A	直接事業費				
	財源内訳	A	3,531,248	11,751,727	12,061,000	
		B	3,531,248	9,631,679		
		C				
		D				
	B	1,568,944	1,431,727			
	C	7,844,719	7,158,633			
D	0.20	0.20				
A + B		5,100,192	13,183,454			
単位コスト	活動指標の説明	利用者、参加者数 3,731人	利用者、参加者数 4,865人	備考		
	活動指標1単位当たりコスト	1,367	2,710	平成27年4月1日現在 人口39,866人 平成28年4月1日現在 人口39,358人		
	市民一人あたりのコスト	128	335			

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺状況等や今後の予測) 国において観光振興は重点施策の一つであり、各市町村も観光施策を積極的に実施している。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 観光ボランティアによるご当地ツアーを引き続き実施して欲しいとの要望が来ている。小松島市観光資源活用については、市民の期待も大きい。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	小松島市の観光振興において重要な事業であると位置づけている。客船の寄港も増加しており、観光地への支援も必要である。「こまボン」も市民に浸透しており、事業のシンボルである。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	小松島市の観光をPR、支援していくうえで、他に適当な団体や施設がない。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	小松島市の玄関である南小松島駅に観光案内所を設置できている。「こまボン」のキャラクターグッズの知名度アップに努めながらキャラクター商品の開発支援を行っていくこととしており、積極的に他都市との連携も視野に入れ効率性を上げていきたい。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	他都市も観光振興事業に積極的に取り組んでおり、市外の観光客やインバウンド客へのPRなど緊急性がある。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	観光ボランティアの独自のツアーも知名度が上がってきた。(今年度は3回実施)「こまボン」も浸透してきており、小松島市の観光振興事業に役立っている。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	観光PRキャラクター「こまボン」の登録商標を取得したので、キャラクターグッズの開発や市外、県外への知名度アップが急がれる。ボランティアガイド協会もツアーの企画本数を増加していくよう支援し、引き続き観光振興事業を強化していきたい。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
2	3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点	65	2	観光振興は重要な事業と位置づけている。「こまボン」は市民に定着しており、市外や県外に積極的にアピールをしている。観光ボランティアも法人化を行い小松島市内の観光ツアーを開発、実施しており、市としても支援しながら、協働で小松島市の観光振興に努めていきたい。
	4 終期設定し終了	20 ~ 39 点			
	5 完了・休止・廃止	19 点 以下			

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】
----------------------------------

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
2	3 改善・効率化し継続	2	マスコットキャラクター「こまボン」を積極的に県内外にアピールし、小松島市のアピールや観光資源のPRにこれからも活用していきたい。また、法人化した観光ボランティアガイド協会とも連携を図りながら、新たな観光資源を掘り起こしをしていきたい。
	4 終期設定し終了		
	5 完了・休止・廃止		